

f フローレンスの活動は、皆様のご寄付に支えられています
フローレンスに寄付をすることで活動に参加してみませんか？

毎月**3,000円**の寄付で、
予期せぬ妊娠で困った女性**1人**の相談を
1回受けることができます。

DVや犯罪被害などによる予期しない妊娠の末の
虐待を防ぎ、赤ちゃんを望む夫婦に託すことが
できます。



毎月**5,000円**の寄付で、
日々行う訪問看護の衛生環境を保つ**マスク**を
500枚購入できます。

衛生環境を保つことで、
安心・安全に訪問看護を行うことができます。



毎月定額の寄付で応援する

マンスリーサポーターとして継続的に決まった額を寄付いただく方法です。金額は以下のコースからお選びいただけます。

1,500円/月

3,000円/月

5,000円/月

10,000円/月

15,000円/月

30,000円/月

申込み方法

① 下記URLからお申し込みいただけます。

<https://florence.or.jp/AnnualReport2021-monthly>



② コース変更はこちらのお問い合わせフォームより金額変更の旨ご連絡をお願いします。

<https://florence.or.jp/contact/personal-donate/>



自由な金額の 寄付で 応援する

好きな金額で寄付できる方法です。

詳細はこちらから

<https://florence.or.jp/AnnualReport2021-onetime>



2021年12月に開設した新しい寄付サイト「オトナリ」なら、Amazonアカウントで100円から簡単に寄付ができます。

詳細はこちらから

<https://florence.or.jp/AnnualReport2021-otonari>



遺贈寄付

詳細はこちらから <https://florence.or.jp/AnnualReport2021-will-donate>

遺贈とは、遺言によって財産の全部または一部を個人や団体に無償で譲与することをいいます。遺言による寄付（遺贈）だけでなく、故人のご意思を
継いだ相続財産からのご寄付や、信託などの契約による寄付の方法もあります。フローレンスでは、現金のご寄付だけでなく、不動産や有価証券なども
お受けしています。現金以外のご寄付については、内容によってお受けできないケースがありますので、まずは一度ご相談ください。



かんたんな寄付で子ども支援

詳細はこちらから

<https://florence.or.jp/AnnualReport2021-other>



その他にもいろいろな寄付の形があります。



まだ使えるモノを
寄付する

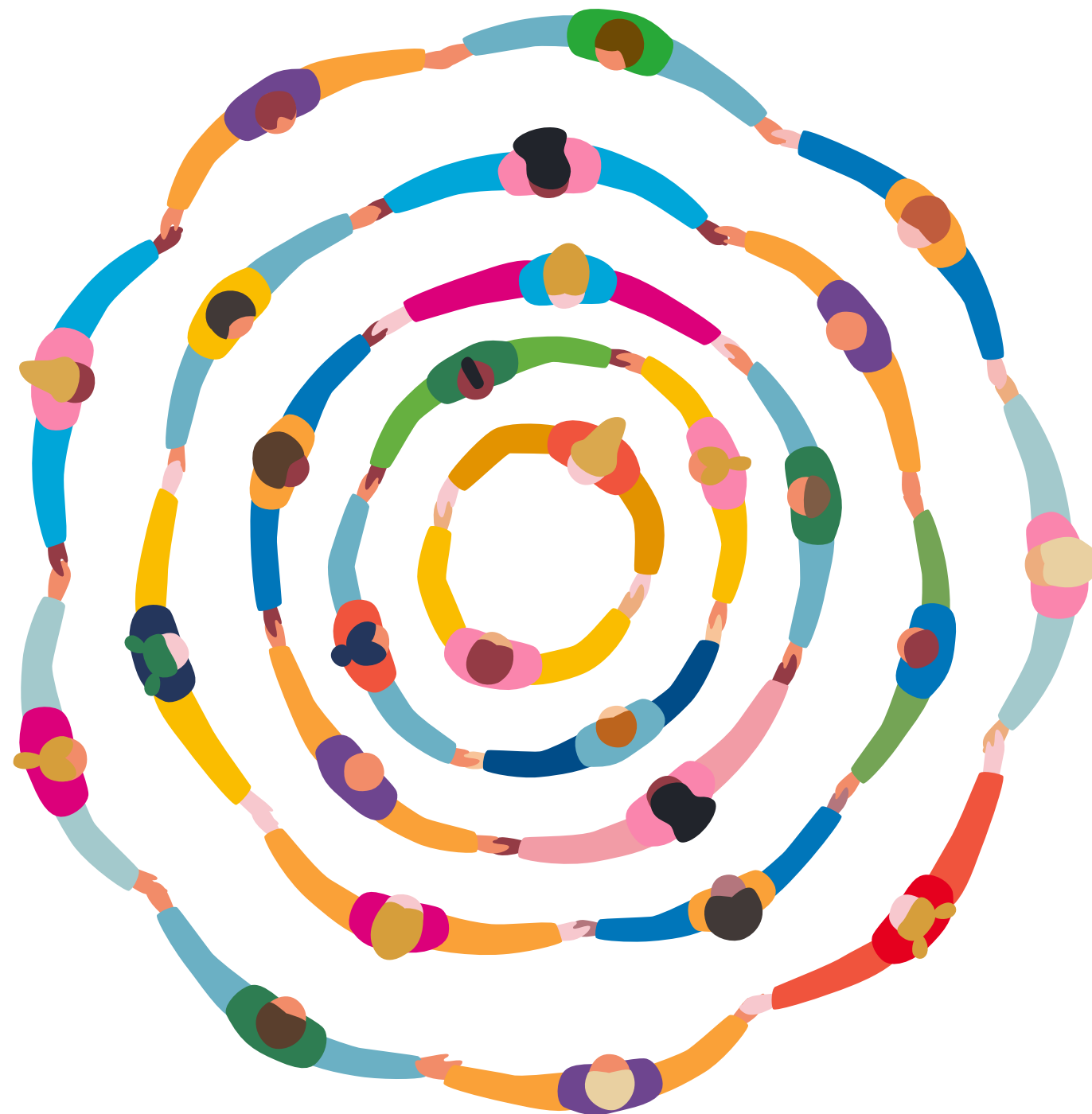


読み終えた本を
寄付する



ANNUAL REPORT 2021

アニュアルレポート 2021



フローレンスは東京都の認定を受けた、認定NPO法人です。確定申告を行うことで寄付金控除を受けることができ、寄付金額の
最大約半額が戻ってきます。相続財産からご寄付をいただいた場合は、相続開始から10ヶ月以内に寄付の受領証明書を添えて相
続税申告されると、寄付額が相続税の課税対象から控除されます。

Florence
認定NPO法人フローレンス

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1丁目14-1 KDX神保町ビル3F TEL:03-6811-0903 FAX:03-6811-0902

フローレンスについて詳しく知りたい方、
寄付についての詳細はこちらから

<https://florence.or.jp/> フローレンス で検索



新しいあたりまえを、すべての親子に。

Florence
認定NPO法人フローレンス

新しいあたりまえを、すべての親子に。

みなさんのおかげで、出せた大きな成果。
けれど、もっとたくさんの親子を助けるための変革を、全力で推し進めます。

2021年度は、コロナ禍で苦しむ親子を助けながら、事業と政策提言の両輪で成果を出しました。特に医療的ケア児支援法の成立と、男性産休創設・男性育休義務化の実現は、大きく社会を変えるものでした。しかし、まだまだ日本の親子をめぐる課題は解消されていません。虐待は増え続け、子どもの自殺は最新の調べで年間400人を超え過去最多、不登校も19万人と過去最多を更新しています。

これから、もっともって力強く社会課題を解決していかなば。

そのために、フローレンスは事業と政策提言のみならず、文化や人々の意識も大きく変えられるよう、組織を変革していこうと思っています。みなさんと共に、次のステージへの変革期を駆け抜けていきたい。心からそう思っています。引き続きお力をお貸しください。



フローレンス代表理事

駒崎 弘樹



VISION

目指す社会像

みんなで子どもたちを抱きしめ、子育てとともに何でも挑戦でき、
いろんな家族の笑顔があふれる社会

MISSION

果たす使命

親子の笑顔をさまたげる社会問題を解決する

STRATEGY

私たちの戦略

- ・社会問題への「小さな解」を、事業として生み出す
- ・政治や行政と共に「小さな解」を政策にし、全国に拡散する
- ・自らも最良の事業者として、インフラを創造し、最後の一人まで助ける

関連団体

- ・特定非営利活動法人 全国小規模保育協議会
- ・一般社団法人全国医療的ケア児者支援協議会
- ・医療法人社団ベルル
- ・一般社団法人こども宅食応援団

団体概要

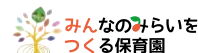
- ・2004年 特定非営利活動法人内閣府認証取得
- ・2012年 東京都より認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)取得
- ・2022年4月1日 スタッフ(事務局スタッフ・保育スタッフ・その他) 合計708名

事業内容

病児保育提供
ひとり親家庭支援



多様化する子育て家庭に伴走



保育ソーシャルワーク

障害児家庭支援



子育て家庭の
孤立を防ぐ



特別養子縁組・
にんしん相談



フローレンスの
赤ちゃん縁組

政策提言・
ソーシャルアクション

みんなで社会変革事業部
働き方革命事業部



障害や医療的ケアの有無に関わらず親子が利用・交流できる「インクルーシブひろばベル」オープン(品川区委託事業)



保育ソーシャルワークを事業部化(中野区委託事業)



SNSやメールでつながるデジタルソーシャルワーク始動。「神戸こども宅食」と連携



小規模認可保育所併設型の一時保育室「うち保育図すがも一時保育室」を豊島区に開設



障害児とその親御さんの双方を支援。「障害児かぞく「はたらく」プロジェクト」サービスイン

「別居中・離婚前のひとり親家庭」支援のソーシャルアクション①児童扶養手当の支給が実現へ



「別居中・離婚前のひとり親家庭」支援のソーシャルアクション②コロナ一時給付金の支給へ



こども家庭庁創設に向けた基本方針に関する声明を発表。「こども家庭庁八策」を提言



サッカー・長友佑都選手とタッグを組み「支援が届かないひとり親のための無料シッター」を提供開始

2021

Activity Report



国会で「医療的ケア児支援法」が全会一致で可決。医療的ケア児の支援が自治体の責務へ

「医療的ケアシッター ナンシー」
仙台へ展開



無料の「にんしん・養子縁組相談」で東京都の妊娠相談事業を一部受託



「コロナ禍における妊娠相談の実態調査(2019年9月～2021年9月)」発表



多胎育児支援活動の成果。都内の路線バス全線で「二人乗りベビーカー」乗車可能へ



団体の活動の歴史が一冊に。代表・駒崎が「政策起業家「普通のあなた」が社会のルールを変える方法」を上梓



「新型コロナこども緊急支援プロジェクト2022」として実質ひとり親家庭にお米10kgと支援情報を提供



育児・介護休業法が改正。男性産休創設・男性育休義務化の実現へ



病児保育事業 寄付によるひとり親支援



子どもが病気の時に、安心して預けられる場所が少ない問題を解決する

2005年に日本初の訪問型・共済型病児保育事業を開始。2008年からひとり親家庭の育児と仕事の両立を支える「寄付によるひとり親支援プラン」を提供。

訪問型病児保育事業の保育実績は累計で業界最多の10万件を突破(2022年5月時点)。首都圏の子育て世帯が仕事と育児を両立するためのインフラとしての役割を担っています。2021年度夏にRSウイルスが爆発的に流行した際には、スタッフ一丸となって対応に当たりました。ひとり親家庭には、寄付を原資に病児保育を低価格で提供。クリスマスには企業の皆さんから物品

提供をいただき「こども宅食ひだまり便」として食品や日用品、お菓子などを贈りました。また、サッカーの長友佑都選手が2020年4月に立ち上げ、フローレンスが事務局を務めるひとり親支援プロジェクトでは、クラウドファンディングによる寄付を原資に、公的な支援につなぐににくい法的離婚前の実質ひとり親家庭へ保育を無償提供する取り組みなどを開始しました。



ひとり親支援プランを利用する親御さんの声



正社員ですが、欠勤すると給料も減るため子どもの発熱が長引くととても困っていましたが、病児対応のベビーシッターは値段が高く、申し込めずにいました。フローレンスの「ひとり親支援プラン」があることを知り感動しました。この値段なら無理なく仕事と子育てを両立しているためとても有難いです。支援者の皆さまありがとうございます。



みらいの保育園事業



待機児童問題に始まり、多様化する親子の課題に保育で伴走

2010年に待機児童問題解決のモデルとして開園した小規模保育所「おうち保育園」に加え、認可保育所「みんなの未来をつくる保育園」と一時保育室を展開。

フローレンスの保育園では、子どもたちの持つ力と可能性を信じて関わる「シチズンシップ保育」を行っています。「シチズンシップ保育」は、子どもたちの気持ちや意見を大切に、それぞれの「やってみたい」を応援することで、みんなを思いやりながら自分たちの未来をつくっていける力を育む保育です。コロナ禍で制約の多い中でも、子どもたちは何ができるか意見を出し合い、協力して園での時間

を楽しんでいます。2021年4月、東京・巣鴨に新たな一時保育室を開設。手続きを簡素化するwebシステムを導入するなど、親御さんの負担を軽減し笑顔で子育てに向き合えるようにサポートしています。保育の提供にとどまらず、未就園児家庭の孤育て問題にも着目し、保育施設が地域の子育ての中心となる未来に向けて動き始めています。



一時保育室を利用した親御さんの声



ふたりめを妊娠中の時から定期的に上の子を預かっていただいています。専業主婦なので理由を問わない一時保育はとても助かっています。お値段も良心的で嬉しいです。赤ちゃん返りや、いやいや期など、とても大変な時期に保育士の方々に預けられたのは、私の精神的にも体力的にも大変助かりました。



障害児家庭支援事業



医療的ケア児の預け先が極度に不足する問題を解決する

2014年、医療的ケアを必要とする障害児を専門的に長時間預かる日本初の保育園「障害児保育園ヘレン」を開園。その後障害児訪問保育アニー、医療的ケアシッター ナンシー等多様な支援を展開。

フローレンスでは2014年に「障害児保育園ヘレン」を開園して以降、様々な事業を通じて医療的ケア児・障害児のお預かりを実施し、親御さんの就労や自己実現をサポートしています。2021年度までにお預かりしたおさんは、のべ人数で、障害児保育園ヘレン108名、障害児訪問保育アニー94名、医療的ケアシッター ナンシー85名です。2021年度は、品川区より委託を受け、医療的ケア

が必要なおさんもお安心して遊べて育児相談ができる「インクルーシブひろば ベル」を4月に開設。9月には、出産を機に離職した医療的ケア児保護者へ再就職を支援するプログラムを提供するとともに「重度医ケア児訪問保育エレノア」により自宅で看護師が保育を提供する『障害児かぞく「はたらく」プロジェクト』を開始。障害児家庭を多角的に支援しています。



障害児訪問保育アニーを利用する親御さんの声



障害児訪問保育アニーの担任の保育スタッフさんは、子どもの体調や表情を細かく捉えて、その日の活動内容を考えてくれます。医療的ケアのサポートや体調管理のために訪問してくれる看護師さんは毎回違う方ですが、担任の保育スタッフさんや他の看護師さんと丁寧に情報共有してくれているので、安心です。本当にアニーを利用して良かったと感じています。

TOPICS

「医療的ケア児支援法」施行

2021年6月、ヘレン開園から6年にわたる政策提言が実り、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が可決され、9月に施行されました。医療的ケア児とその家族への支援が着実に拡充するよう、これからも働きかけていきます。



みちのくえがお創出事業(仙台支社)

東日本大震災の復興支援から、仙台地区の子ども福祉推進へ

仙台市における「おうち保育園」の運営のほか、障害児支援や子ども食堂の展開など地域に根ざした活動を展開。



2011年の東日本大震災における被災地支援からスタートした東北での活動は、2021年に10年目を迎えました。現在は仙台市内で3つの「おうち保育園」を運営し、障害のあるおさんの受け入れ、保育園を利用する親子の困りごとによりそう「保育ソーシャルワーカー」の配置、園での「ほいくえん子ども食堂」の実施など、地域に根ざした特色ある様々な取り組みを行っています。また、行政に対し

て、子ども子育て支援・福祉サービスのさらなる拡充を要望する提言活動にも取り組んでいます。2021年度は、仙台市で医療的ケア児への支援が極度に不足していることを受け、医療的ケアに対応した看護師による自宅での訪問事業「医療的ケアシッター ナンシー」の仙台エリアでの提供を10月に開始。これまでに4名のおさんをお預かりしています。



フローレンスの
赤ちゃん縁組

にんしん相談・赤ちゃん縁組事業

すべての赤ちゃんに、あたたかな家庭環境を

赤ちゃんの虐待死ゼロを目指し、2016年より予期せぬ妊娠に悩む女性の妊娠相談と、特別養子縁組の支援を行う、赤ちゃん縁組事業を開始。

フローレンスの「赤ちゃん縁組事業」は、予期せぬ妊娠に悩む女性の相談対応と、やむを得ない事情により養育することができない場合に特別養子縁組の支援を行い、赤ちゃんを育ての親につなぐ役目を担っています。特別養子縁組の支援では「育ての親」へのサポートにも力を入れており、研修や迎える準備のサポートや、迎えた後の子育ての相談にも乗っています。丁寧な支援が評価され、2018

年度より養子縁組あっせん機関モデル事業に選定。2021年度より東京都からの受託事業「特定妊婦等に対する相談支援及び産科受診等支援業務委託」を開始。行政と連携しながら妊娠女性の支援を行っています。また、過去2年間に寄せられた妊娠相談を分析し、実態調査としてコロナ禍で急増した妊娠相談の背景にある課題を可視化し、さらなる支援や提言につなげています。

赤ちゃんを託した実親の声



妊娠中から相談員さんにたくさん話を聞いてもらって、赤ちゃんと自分のこれからのことをじっくり考えて決めることができました。赤ちゃんが無事に養親さんのおうちで新しい生活を始めた聞いて、本当に良かったです。大切に育ててもらっているようで安心しました。産後、体調もだいぶん回復してきて、少しずつですが前に進めています。私もこれからのこと、頑張ろうと思います。

子どもを迎えた養親の声



先月無事、娘との特別養子縁組が成立しました。大きな病気もせず、モリモリ食べてたくさん寝て、健康に1年過ごせました。家族はもちろん、まわりの友人もとても娘を可愛がってくれています。これから大変なことも沢山あると思いますが、娘と会った日のこと、それからの生活、周りから頂いた祝福を忘れず、これからももっともっと3人で幸せに暮らしていきたいと思います。

保育ソーシャルワーク事業

専門家が保育士と連携し、
親子や家庭の課題にアプローチする

相談支援、制度やサービスの情報提供を通して、保育園を利用している親子・保育者によりそい、「困り感」やその原因となる課題の解消へ向けたサポートをしていく取り組み。



臨床発達心理士や社会福祉士などの専門資格を有する「保育ソーシャルワーカー」が保育施設を訪問し相談を受けたり、園長・保育士、地域機関と連携して家庭をサポートする保育ソーシャルワーク。フローレンスが運営する保育園では2018年より保育ソーシャルワーカーの配置を開始し、同時に保育現場から家庭支援へ繋げることの重要性を国に訴えかけました。その結果、2020年度には国

の事業として認められています。これを受けて、東京都中野区が保育所・保育スタッフの支援を2021年度から導入し、フローレンスが受託者として選定されました。2021年度については、市内の16園、中野区内の50園に対して養育や発達などに関する相談支援を提供しました。

保育ソーシャルワーカーと連携した
保育士さんの声



子どもの特性に合った対応について具体的なアドバイスを聞くことができ、保育の見直しや保護者へのアプローチの仕方について学ぶことができました。自分たちでは気づけなかった部分も気づくことができてよかったです。

こども宅食事業



こども宅食



こども宅食応援団



おやこよりそい
チャット



緊急支援でお米を届けたご家庭の声



助けてもらえることの、嬉しさを実感しています。きついんですけど、毎日頑張ってます。こうやってほんとにお米が届いたこと、すごく嬉しいです。頑張ったごほうびみたいで、ほっとして涙が出てしまいました。子どもに食べさせることを先にして、私はもやし为主食でしたが、子どもと、私もお米たくさん食べます。お米と、そしてみなさんの気持ちも一緒にいただきます！

食をきっかけにつながりをつくり、支援につないでいく

2017年に東京都文京区で「こども宅食」開始。2018年に一般社団法人こども宅食応援団を立ち上げ、全国普及活動開始。2021年よりデジタルを活用した新規モデル開発にも取り組む。

コロナ禍で経済的な困難を抱え、地域とのつながりが希薄になるご家庭が増加する中、親子と積極的につながりを持つこども宅食の支援へ注目が高まっています。こども宅食応援団が連携する全国のこども宅食実施団体は、2021年度までに71団体、約10,000世帯規模に広まりを見せています。2021年度は、政策提言活動により、自治体を介さず民間団体等を通じて、国からこども宅食等の実

施事業者への資金助成が可能となる「政策セカンドトラック」が実現。実施団体への迅速な財政支援で、より多くの親子にこども宅食の支援が届けられるようになりました。また、農林水産省の「政府備蓄米のこども宅食団体への無償提供」の増量を提言し、当初の4倍の年間最大1.2トン/団体が提供可能に。2021年度は78.2トン(3月4日時点)のお米が各地の支援団体に届けられました。

TOPICS

2

新しい支援モデル「デジタルソーシャルワーク」を全国へ

2021年8月、食品配送等をきっかけにつながり、オンラインで継続的に声をかけ、ゆるやかに雑談・相談を受けながら情報提供・支援へつなぐ新しい支援モデル「デジタルソーシャルワーク」を実践する「おやこよりそいチャット」を神戸市から始動。社会福祉士等の有資格者が全国からフルリモートで参画し、開始からわずか半年で全国4,000以上のご家庭とつながり、よりそいながら、支援につないでいます。



企業との協賛で、全国の子育て支援団体をサポート

2022年1月、国内最大級の食品卸企業である株式会社日本アクセスとともに、大手食品メーカー各社の協賛のもと、全国の子育て支援団体を通じて子育て家庭へ食支援を行う取り組み「こどもフードアライアンス」をスタート。複数の食品メーカーより提供される食品を一括集約し、全国の子ども支援団体に分配することで、全国の子育て支援団体の食品調達をサポートします。第1弾のトライアル実施では、1万世帯に計8万食をお届けしました。

公的な支援が極端に不足する実質ひとり親家庭への緊急支援を実施

「新型コロナこども緊急支援プロジェクト2022」の一環として、2022年2月より離婚前・別居中の「実質ひとり親家庭」などに対し、10kgのお米の配送や情報提供を通じた緊急支援を実施。寄付を原資に517家庭へ支援を届け、デジタルソーシャルワークによる継続的な支援につなげています。



働き方革命事業部

〔人事・総務・経理・法務・システム〕

日本一多様で働きがいのある組織を目指すと共に、その実践を社会に発信

保育・福祉事業の推進や政策提言活動など、フローレンスのあらゆる活動は、人事、総務、経理、法務、システムなどの機能を担う「働き方革命事業部」が支えています。業務整備やITを活用した業務のイノベーションを行いながら、個々の能力を活かした障害者雇用も促進するなど、同志志の上に多

様な人材が活躍できる組織づくりを実践しています。また、社外向けに保育士等キャリアアップ研修や保育リーダー研修を実施するなど、組織の実践のノウハウを社会に発信し、社会全体の働き方において「新しいあたりまえ」を目指します。



みんなで社会変革事業部

〔寄付・広報・政策提言・ソーシャルアクション〕

政策提言やソーシャルアクションを通じて、寄付者・支援者の皆さんとともに「新しいあたりまえ」を創造

フローレンスでは、社会課題の根本的な解決を目指し、皆さんからいただく寄付を原資に制度や世論のアップデートを推進する政策提言活動やソーシャルアクションに注力しています。これまでに小規模保育所を認可保育所として法的に位置づけたり、国や地方自治体が医療的ケア児の支援を行

う責務を負うことを明文化した「医療的ケア児支援法」の施行に貢献しました。これからも、のべ20,000人を超える寄付者の皆さん、企業や行政の皆さん、応援してくださる皆さんと共に、「新しいあたりまえを、すべての親子に」届けることを目指します。

【2021年度メディア露出件数】

TV25件、新聞368件、WEB321件、雑誌35件、ラジオ31件(全780件)

【主な露出先】

NHK「おはよう日本」、TBS「報道特集」、NTV「news every.」「スッキリ」、CX「めざましテレビ」、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日本経済新聞、ハフポスト日本版、TOKYO FM「ONE MORNING」など

SOCIAL



ACTION

ソーシャルアクション

ソーシャルアクションとは、社会課題の根本解決を目指し、制度や世論のアップデートを推進する活動です。

制度のはざままで苦しむ人々の声を国に届ける ― 実質ひとり親家庭への支援

コロナ禍で厳しい状況におかれながら、公的支援が届きにくい法的離婚前・別居中の実質ひとり親家庭への支援拡充を求め、2020年11月より他の支援団体とともに全国調査や記者会見を行ってきました。2021年12月には、子どもの養育者でありながら、18歳以下を対象とした10万円相当の給付の対象から漏れているひとり親家庭に給付金が届くよう緊急提言を実施し、政府から「子どもを養育している親に給付する」との方針が発表されました。



一人の母親が、社会を変えた ― 多胎児(双子・三つ子など)家庭支援

「双子ベビーカーは畳まないで公共交通機関であるバスに乗れない」など、双子や三つ子など多胎児育児の過酷さを知ったフローレンスのスタッフが中心となり、2019年に多胎児家庭にアンケートを実施。全国1,591家庭から寄せられた声をもとに2年にわたり政策提言を続けた結果、2022年5月から都内のバス全線で双子ベビーカーを折りたたまずに乗車可能となりました。また、東京都内の自治体で多胎児家庭向けのタクシー利用料助成や、ヘルパー事業の拡充などの政策提言を進め、実現に至っています。2022年4月には、保育の専門家が訪問し、保護者とともに育児を担う「多胎児家庭専用」の訪問サポートサービス「ふたご助っ人くじ」を開始しました。



保育教育現場の性犯罪をゼロに ― ついに日本版DBS創設へ

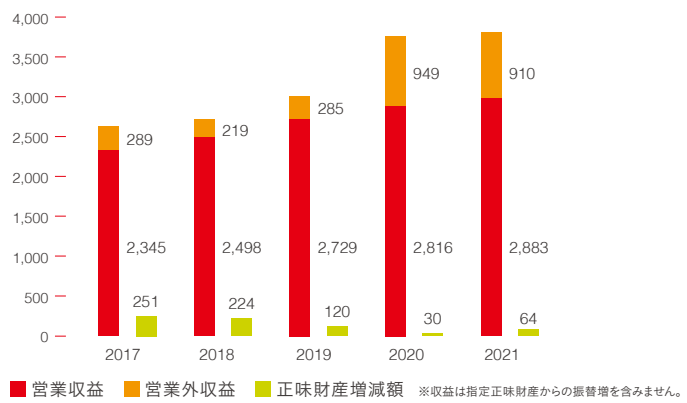
私たちは、保育事業者として、子どもたちを性犯罪から守る仕組み「日本版DBS」創設に向けた政策提言を2017年から進めてきました。2020年には日本版DBSの創設を求める記者会見を実施、アクションを推進してきたフローレンススタッフが2021年9月に政府の「子ども政策の推進に係る有識者会議」の臨時委員として選出され、国に直接声を届けました。2022年1月、岸田内閣総理大臣が「教育や保育の現場で『日本版DBS』を進める」と言及。子ども関連施策の司令塔「子ども家庭庁」の目玉政策として、性犯罪者を保育や教育の現場からキックアウトする「無犯罪証明書」制度(日本版DBS)の導入の検討が行われています。



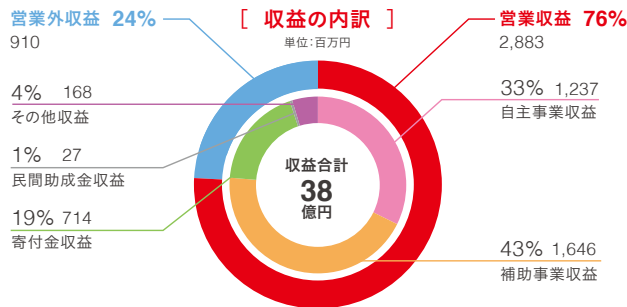
2021年度 財務報告

〔収益・正味財産増減額〕

単位:百万円



2021年度は総収益3,792百万円、27百万円の増収(前年度比101%)、34百万円の増益(前年度比213%)となっています。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大を背景に、寄付金を多くいただきました。今期いただいた寄付金の一部は、翌期以降の活動にあてるため積立金として特別損失に計上しています。NPOは寄付者や会員に利益を分配することを禁止されていますが、利益を上げることが禁止されているわけではありません。私たちは社会課題解決のために、その利益を次年度以降の投資に使っていきます。

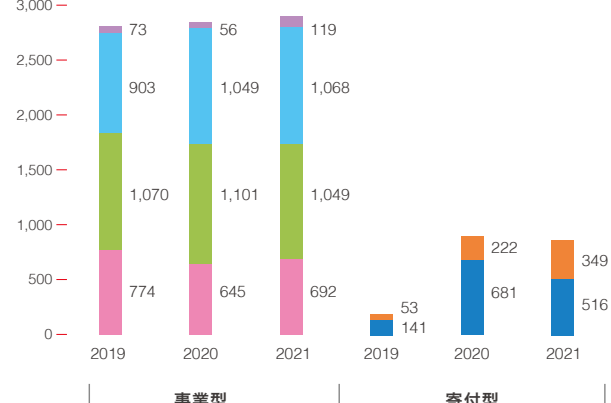


フローレンスの収益構成には2つの特徴があります。
①持続可能な事業運営:フローレンスはサービス提供による事業収益を主な収益としているため、持続可能性の高い事業運営を行っています。
②寄付者からの支援:フローレンスは事業収入を主としたソーシャルベンチャーであります。数多くの寄付者のみなさんから支援を受け事業を推進しております。2021年度は7億円の寄付をいただきました。寄付金は、新たな福祉サービスの開発や事業投資などに使用し、社会課題解決に向けた推進の力としております。今後は、コロナ禍で見えてきた様々な課題を解決していくため、こども宅食事業や赤ちゃん縁組事業における支援の充実と受益者の便益向上、さらには新規事業開発に力を注いでまいります。その原資として「あたらしいつながり創造積立金」の積立や、全事業を横断したソーシャルワーク人材拡充をはじめとした団体内の人材開発のための「人材等投資積立金」の積立も行い、継続的かつ包括的な支援活動を実施していく計画です。

2021年度 活動計算書	
科目	金額(千円)
I 経常収益	
1.受取寄付金	714,330
2.受取助成金等	1,672,765
3.事業収益	1,237,224
4.その他収益	168,361
経常収益計	3,792,680
II 経常費用	
1.事業費	3,207,962
2.管理費	328,543
経常費用計	3,536,505
当期経常増加額	256,175
III 経常外収入	
経常外収入計	25,000
IV 経常外費用	
経常外費用計	216,417
法人税、住民税及び事業税	642
当期正味財産増加額	64,116

〔事業モデル別収益〕

単位:百万円



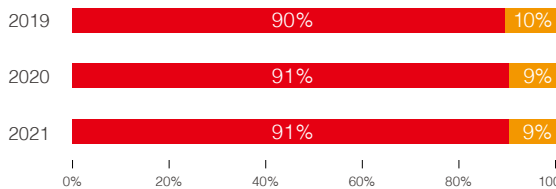
事業型 病児保育事業
事業型 障害児保育事業
事業型 保育園運営事業
事業型 その他事業
寄付型 みんなで社会変革事業
寄付型 こども宅食事業

フローレンスの事業は、サービス提供による事業収益を主とするモデル(事業型モデル)と、寄付収入を主な原資とするモデル(寄付型モデル)の2つの事業モデルがあります。2021年度、事業型モデルにおいては、病児保育事業にて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減少していたお預かり件数が回復し、46百万円の増収となりました。また、障害児保育事業では、2019年より立ち上げた「医療的ケアシッター ナンシー」の利用者数拡大、「障害児訪問保育アニー」での発達支援の拡充により、19百万円の増収となりました。みらいの保育園事業では、展開区の待機児童数の減少の影響で52百万円の減収となりました。寄付型モデルにおいては、こども宅食事業にて、こどもフードアライアンス(大手食品会社から食品を寄贈していただき、全国のこども宅食事業者と連携して宅食事業を推進する事業)を開始し、126百万円の増収となっています。

※その他事業には、コミュニティ創出事業、赤ちゃん縁組事業、保育ソーシャルワーク事業、働き方革命事業が含まれます。

〔事業費比率〕

事業費 管理費



経常費用のうち事業に使用された費用の割合を示す事業費比率は、2021年度91%でした。フローレンスでは事業費比率90%前後を目安として事業運営しております。

2021年度 貸借対照表

科目	金額(千円)
I 資産の部	
1.流動資産	2,112,292
2.固定資産	327,352
資産合計	2,439,644
II 負債の部	
1.流動負債	339,471
2.固定負債	1,056,088
負債合計	1,395,559
III 正味財産の部	
正味財産合計	1,044,085
負債及び正味財産合計	2,439,644

開示情報の前提

NPOはあくまでも「社会課題の解決」を存在意義とし、利益は継続的な活動をしていくための手段です。とはいえ責任を持って持続可能な運営を行うためには、企業と同様に財務健全性を度外視することはできません。フローレンスはそうした財務健全性を保つため、本ページにおいて財務情報の開示を行い、経営の透明性を高めてまいります。なお、会計処理および開示方法については、NPO会計基準に従っております。

フローレンスを様々な形で支援してくださる寄付者の皆さんの声



不二聖心女子学院
旧 中3松組の皆さん

「節約弁当」みんなで貯めたお金で、
ひとりでも多くの方を笑顔にしたい

私たちは、毎月一回白米のみの昼食を持参し、おかず代の100円を寄付する「節約弁当」という活動をしています。食事や勉強が当たり前のできる私たちがこの活動を通して空腹を体感し、恵まれた環境に感謝し食べ物を大切にすることが目的です。こうして1年間ためたお金を寄付する先を調べているなかで、コロナ禍で経済的な打撃を受けた子育て世帯の生活が、さらに困難になっていることを知り、少しでもお役に立ちたいと思いました。私たちの寄付でひとりでも多くの方が笑顔になってくれたらとても嬉しいです。多くの子どもたちがこれからの未来で家族と幸せに生活できるように、私たちにもできることを積極的に取り組んでいきたいと思っています。



川端 シュードーンさん

たくさん助けられてきたからこそ、
困難な状況にある方々の力になりたい

誰もが色んな重荷を抱えながら生きています。そして親になると子どもの分の重荷まで背負わないといけない時があります。そしてその重荷は時々自分で抱えきれないくらい重くなってしまう。私はこれまで神様や教会の人、周りの方々に幾度も助けられてきましたが、それでも子どもが生まれた時には育児の大変さに圧倒されました。おひとりで子育てされている方や、病を抱えているお子さんの育児はどれだけ大変だろうかと思います。その中でフローレンスの素敵な働きを知り、少しでも力になればいいなと思いました。くじけそうになる時に、自分のことを微力でも支えたいと思っている人がどこかにいると思い起こしていただければ幸いです。



麻生 淳二さん

お世話になった病児保育の恩返しの気持ちも
込めて、困難な状況にある子どもたちを支援

明日のごはんが食べられないかもしれない不安を抱えているといった、自分の子どもたちが経験したことのない困難な状況に置かれている子どもが現実によくいることをテレビやネットで知っているけど、自分には解決するスキルも能力もないし…と行動を起こす前に諦めていたとき、フローレンスさんの活動を知りました。頑張っているスタッフの方を少しでもバックアップできたら、という想いで、我が家の末っ子が「フローレンスの病児保育」から卒業したタイミングで、恩返しの気持ちで寄付を始めました。スタッフの皆さん、毎日、想像を超えるようなご負担があるかと思いますが、微力ですが、末永くサポートさせていただきます。



藤井 鞠子さん(仮名)

課題に直面しても前に突き進む姿勢に共感し、
叔母からの相続財産の一部を寄付

叔母の遺産を相続し、寄付先をいろいろ検討しましたが、子どもが好きでずっと子どもをほしがっていた叔母でしたので、子どもたちをとりまく課題のなかでも赤ちゃん縁組事業の支援がしたく、フローレンスに託すことにしました。私も小児科医という仕事柄、困難をかかえた親子に出会うことが多々ありますが、いくつもの問題がつながり合って状況を難しくしていることが多く、どこをどうすればいいのか、途方に暮れるばかりです。でもフローレンスは、そこで立ち止まらず、できるところから解決していこうとされています。いわば「必要だと思えば何でもやってしまう」その姿勢にはいつも驚かされ、本当に頼もしく思っています。

フローレンスを支えてくださった企業・団体の皆さん

accenture

アクセントチュア
株式会社

amazon

アマゾンジャパン
合同会社

M
村上財団
The Murakami Family Foundation

一般財団法人
村上財団

COSTCO
WHOLESALE

コストコホールセールジャパン
株式会社

SEIYU

株式会社西友

salesforce

株式会社
セールスフォース・ジャパン

7i
SEVEN&I HOLDINGS

株式会社
セブン&アイ・ホールディングス

DECKERS
— BRANDS —

デッカーズジャパン
合同会社

Deloitte
デロイト トーマツ

デロイト トーマツ
グループ

豊田自動織機

株式会社
豊田自動織機

ORACLE

日本オラクル
株式会社

みてね 基金

みてね基金

LEGO

レゴジャパン
株式会社

株式会社アダストリア／アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社／株式会社イムベックスケミカルズ謙信洋行／MFSインベストメント・マネジメント株式会社／カラース株式会社／サイバーソリューションズ株式会社／サノフィ株式会社／三和グループ社会貢献倶楽部／株式会社C-links／住友ファーマ株式会社／株式会社タイムレス／株式会社宝島社／TP ICAP証券株式会社／ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社／東芝テック社会貢献基金／株式会社林ケミック／ヴィーナ・エナジー・ジャパン株式会社／ビムコジャパンリミテッド／株式会社ファーストリテイリング／株式会社ファンケル／株式会社Brillar／株式会社Brosky／細木数子事務所／株式会社マークスインターナショナル／未来シフト株式会社／株式会社メルカリ／Euromonitor International／ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング／ライオン株式会社／株式会社リコー ほか多数 ©技術提供ほか、さまざまな形で支えてくださった企業・団体の皆さん ウイングアーク1st株式会社／ソフトバンク株式会社／ヤフー株式会社 Yahoo!ネット募金【一部ご紹介】※五十音順・敬称略

アリババ株式会社

松沢 しゃん さん

Alibaba
JAPAN
Global trade starts here.

BHP

ガントス 有希 さん

BHP

コロナ禍の経済打撃で日本のひとり親家庭がより支援を必要としています。ひとり親家庭と子どもたちの助けになりたいという思いから、日本で最大級の親子支援をしているフローレンスとともに支援の取り組みを開始しました。金銭的寄付や蔓延防止施策に伴う一時的な緊急支援だけでなく、有志を募り、貧困家庭の子ども達への宅食支援「こどもフードアライアンス(KoFA)」を発足するなど、継続的な支援を行っていききたいと思います。

弊社は、インクルーシブで多様性のある職場がもたらす価値を認識し、2025年までに従業員の男女比を同率にする目標を掲げています。フレキシブルな働き方を実現する病児保育の提供や、社会の意識や行動変容に繋がる男性の育休義務化などのソーシャルアクションに取り組むフローレンスを通してコロナ禍で大きな影響を受けた家庭への支援を決めました。私たちの支援は、社会的な存在価値である「ソーシャルバリュー」創造のための手段で、私たちの寄付を世の中を変える活動に使っていただけて嬉しく思います。

法人の皆さまへ

CSRページ

法人寄付に関する最新のニュースや取り組み事例などの情報はこちらからご覧ください。

<https://florence.or.jp/donate/csr/>

法人問い合わせ

法人寄付のお申し込みやご相談、その他ご不明点がありましたら、こちらからお気軽にご連絡ください。

<https://florence.or.jp/contact/corp-donate/>

